

CO₂サービスバッグ (CO₂ゼロガス供給キット) 形83104511-002

■概要

CO₂サービスバッグは、ソーダライム（ソーダ石灰）（以降：ソーダライム）の化学吸着を利用してCO₂濃度0 ppmの空気（以降：CO₂ゼロガス）を生成する製品です。

CO₂濃度センサ（形番CY8000、形番CY8100、形番CY710*）の校正に使用します。

■形番

形番	内容
83104511-002	CO ₂ サービスバッグ (CO ₂ ゼロガス供給キット)

* CO₂ゼロガスを発生させるためのソーダライムを別途準備してください。

■仕様

項目	内容
機能	CO ₂ 濃度0 ppmのガスを生成
ポンプ	0.5 l/min
吸着物質	ソーダライム（別途準備）
供給外部電源	AC100 V、8 W
バッテリーの種類	鉛蓄電池
バッテリー連続運転時間	36 h（フル充電時）
バッテリー充電時間	8 h
内蔵バッテリー	DC12 V、3 Ah
電流消費量	100 mA + バッテリー充電
保管温度条件	-20 °C～+50 °C (冷暗所での保管を推奨)
サイズ	14 × 19 × 19 cm（奥行き × 高さ × 幅）



●ソーダライム

重要!! ●ソーダライム製品安全データシート（SDS）を確認してください。

- 水に溶解すると強アルカリになるため、水に溶かさないでください。
- 大気に触れるとCO₂吸着能力が低下するので密栓して冷暗所に保管してください。

ソーダライムは、酸化カルシウムに重量比5 %～20 %の水酸化ナトリウムと重量比6 %～18 %の水分を混ぜた混合物です。ソーダライムは、質量比25 %～35 %のCO₂を吸着します。

未使用のソーダライムは、通常白色・淡い灰色の粒状、またはペレット状で販売されています。CO₂を吸着すると、特に指示薬が含まれている製品では色が変わることがあります。

本製品を使用する場合は、粒状またはペレット状のソーダライムを別途購入してください。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 「注意」



取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示(左図は一般指示の例)。

△ 注意



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。
火災や故障のおそれがあります。

△ 注意



取り扱いは、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
取り扱いを誤ると、火災や感電のおそれがあります。



本製品を充電させながら使用する場合は、電源コードに足などが引っ掛からないように注意してください。
転倒によりけがをしたり、本製品が落下により故障するおそれがあります。



取付作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。



本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、新品に交換してください。
火災や発火のおそれがあります。



ソーダライムを取り扱うときは、ソーダライムのSDSに記載された内容を十分理解したうえで行ってください。
健康障害を生じるおそれがあります。

重要!! ・ソーダライムは現場では交換せず、事務所で保護具を使用して交換してください。

・ソーダライムに直接触れないでください。粉塵が眼に入らないようにしてください。また、粉塵を吸い込まないようにしてください。

・ソーダライムを取り扱うときは、肌を露出しない保護服(作業服)・グローブ(ゴム手袋など)を着用し、眼(ゴーグルなど)、鼻・口(マスクなど)用の保護対策をしてください。
アクシデント発生時は次の処置をしてください。

・眼に入った場合

数分間、多量の水で洗い流す。(コンタクトレンズ装着時は洗浄後外す)

・皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱ぎ、水道水で皮膚を洗浄する。

・吸入した場合

新鮮な空気のもとで呼吸させ、安静にする。

・飲み込んだ場合

意識があるなら2杯～4杯の牛乳か水を与える。意識がなければ、すぐに医療機関に連絡し、指示を仰ぐ。

いずれの場合にも、各処置後、医療機関に連絡し、専門医の指示を仰いでください。

・水に溶解すると強アルカリになるため、水に溶かさないでください。

■各部名称

● 内容物

- CO₂サービスバッグ本体
- ガス供給チューブ (3 m)
- センサ接続用チューブ (15 cm)
- 充電用アダプタ

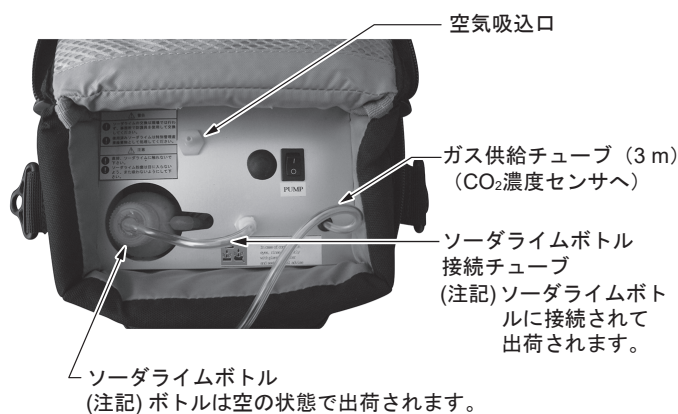


図1 CO₂サービスバッグ本体内部

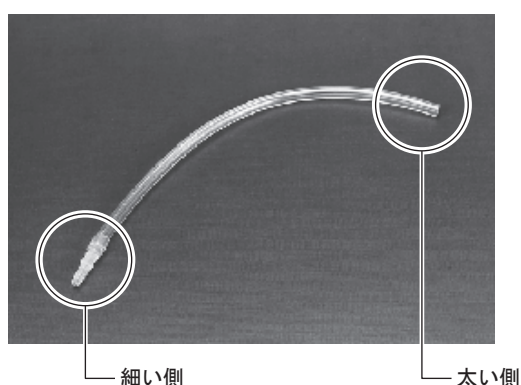


図2 センサ接続用チューブ (15 cm)

■取 付

重要!! 接続箇所にゆるみがないことを確認してください。発熱および装置故障の原因となるおそれがあります。

● CO₂濃度センサとの接続方法

(注記)

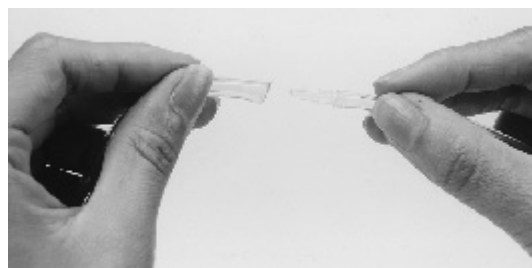
1. 使用する前に、ACアダプタを接続し本体を充電してください。
2. ボトルは空の状態出荷されます。
ご使用開始時は、『■ 保守 ● ソーダライム充填』を参照のうえ、ソーダライム粒をボトルに充填してください。

- (1) センサ接続用チューブを空気吸込口から外します。
使用しないときは、センサ接続用チューブを空気吸込口につないで置いてください。

(参照) 『■ 取扱 ● 性能を最大限発揮させるために 項(2)』



- (2) センサ接続用チューブの細い側をガス供給チューブ (3 m) (図1) にはめ込みます。



- (3) センサ接続用チューブの太い側をCO₂濃度センサにつなぎます。ガスが漏れないように、しっかりと装着してください。

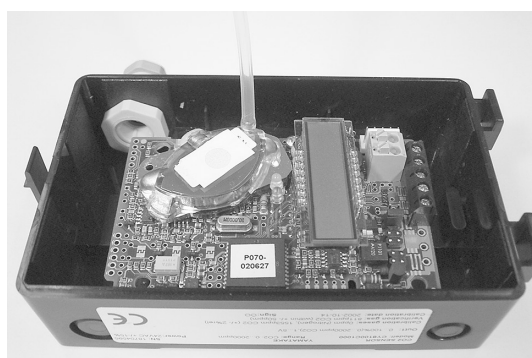
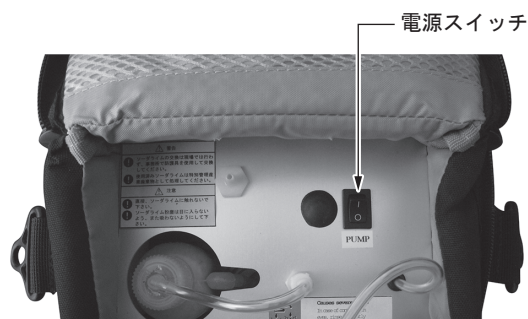


図3 形番CY8000、形番CY8100の場合

- (4) 電源スイッチを入れます。
CO₂濃度がゼロレベルへ減少し始めます。



(参照) 校正方法について

『AI-7175 ダクト用CO₂濃度センサ 形CY8100C1001 仕様・取扱説明書』

『AI-7286 ネオセンサ™ 室内用CO₂濃度・温度センサ 形CY7101 仕様・取扱説明書』

『AI-7287 シーリングセンサ 天井用CO₂濃度・温度センサ 形CY7102 仕様・取扱説明書』

■ 取 扱

重要 !! ●サービスバッグは横置きで使用しないでください。

● 動作確認

使用を開始する場合、『■ 保守 ● ソーダライム交換の目安』を参照し、機器が正常に動作していることを確認してください。

● 性能を最大限発揮させるために

- (1) 電源スイッチを入れる前にサービスバッグをゆすってください。*
- (2) サービスバッグを使用しないときは、センサ接続用チューブを空気吸込口（サービスバッグの上部にあります）につないでください。
これにより、ソーダライム粒が外の空気と触れることがなくなり、ソーダライム粒へ不必要にCO₂が吸着することを防げます。

* ソーダライム粒の表面に粉がついている場合があります。使用前にサービスバッグをゆすって粉を落としてください。粉が付着していると、CO₂吸着能力が低下することがあります。

● バッテリーを長期持続させるために

完全に放電させないでください。
使用（放電）後は、バッテリーを充電してください。
ただし、48時間以上の充電はしないでください。
サービスバッグを長期にわたり使用しないときは、涼しい場所に保管して、少なくとも6か月に1回は充電してください。

■ 保 守

● ソーダライム交換の目安

ソーダライム粒の吸着能力の確認は、次のように行ってください。

- (1) センサ接続用チューブをCO₂濃度センサに接続します。
- (2) 空気吸込口に向けて息を軽く吹きかけて、供給ガスのCO₂濃度値を確認します。
空気吸込口から絶対に吸い込まないでください。
- (3) CO₂濃度が上昇する場合は、ソーダライムを交換します。

● ソーダライム充填

重要 !! ●ソーダライムは現場では交換せず、事務所で保護具を使用して交換してください。

- ソーダライムに直接触れないでください。粉塵が眼に入らないようにしてください。また、粉塵を吸い込まないようにしてください。
- ソーダライムを取り扱うときは、肌を露出しない保護服（作業服）・グローブ（ゴム手袋など）を着用し、眼（ゴーグルなど）/鼻・口（マスクなど）用の保護対策をしてください。
アクシデント発生時は次の処置をしてください。

- 眼に入った場合
数分間、多量の水で洗い流す。
（コンタクトレンズ装着時は洗浄後外す）
- 皮膚に付着した場合
汚染された衣服を脱ぎ、水道水で皮膚を洗浄する。
- 吸入した場合
新鮮な空気のもとで呼吸させ、安静にする。
- 飲み込んだ場合
意識があるなら2杯～4杯の牛乳か水を与える。
意識がなければ、すぐに医療機関に連絡し、指示を仰ぐ。
いずれの場合にも、各処置後、医療機関に連絡し、専門医の指示を仰いでください。

- (1) ソーダライムボトル接続チューブを外し、穴の隙間から手を入れてソーダライムボトルを半分程引っ張り出します。
チューブが接続されているため、ボトルは完全には引き抜けません。
- (2) ソーダライムを充填します。
 - 新規に充填する場合
 - ① ソーダライムボトルの栓を外します。
 - ② 漏斗を使用し、新しいソーダライムを直接充填します。
 - 詰め替えの場合
 - ① ソーダライムボトルの栓を外します。
 - ② ビニール袋を栓に被して輪ゴムで固定します。
 - ③ バッグ全体を傾け、使用済みのソーダライムをビニール袋に入れます。
* 不要になったビニール袋およびソーダライムは、『■ 廃棄』を参照して廃棄してください。
 - ④ 漏斗を使用し、新しいソーダライムを充填します。
- (3) (2)で外した栓を取り付けます。

■廃棄

本製品は、特別管理産業廃棄物として処理が必要な鉛蓄電池を搭載しています。

本製品が不用になったときは、特別管理産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

また、本製品の一部、または全部を再利用しないでください。

本ページは、編集の都合により追加されている白紙ページです。

本ページは、編集の都合により追加されている白紙ページです。

ネオセンサはアズビル株式会社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

【ご注意】この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。